

(水道資材の規格、数量、単価基準及び要件一覧表)

品名	規格	基準単価	品名	規格	基準単価	品名	規格	基準単価	
ポリパイプ 1層管 (1巻単位)	φ13	8,766	タンク取付金具	φ15	2,900	VP塩ビ チーズ	φ13	44	
	φ16	14,658		φ20	3,200		φ16	63	
	φ20	20,735		φ25	3,900		φ20	83	
	φ25	20,206		φ30	4,800		φ25	126	
	φ30	29,315		φ40	5,200		φ30	161	
	φ40	33,791		φ50	6,300		φ40	280	
3Fジョイント	φ50	32,361	ゲートバルブ 5K	φ15	1,680	VP塩ビ ソケット	φ50	380	
	φ16	2,585		φ20	2,320		φ13	32	
	φ20	2,800		φ25	3,040		φ16	39	
	φ25	3,130		φ30	4,160		φ20	44	
	φ30	3,910		φ40	5,360		φ25	65	
	φ40	4,430		φ50	8,800		φ30	86	
3Fジョイント オネジ付き	φ50	6,350	VP塩ビ管 L=4m 1本	φ13	510	VP塩ビ エルボ	φ40	151	
	φ16	2,870		φ16	730		φ50	229	
	φ20	3,390		φ20	880		φ13	31	
	φ25	3,640		φ25	1,260		φ16	37	
	φ30	4,680		φ30	1,540		φ20	53	
	φ40	5,430		φ40	2,020		φ25	80	
3Fジョイント メネジ付き	φ50	8,430	VP塩ビ バルブソケット	φ50	2,800	鋼管 白チーズ	φ30	108	
	φ16	2,700		φ13	36		φ40	193	
	φ20	3,130		φ16	39		φ50	317	
	φ25	3,390		φ20	44		φ15	240	
	φ30	4,170		φ25	54		φ20	280	
	φ40	4,950		φ30	88		φ25	410	
MCスーパー ユニオン	φ50	7,700	VP塩ビ 給水ソケット	φ40	113	鋼管 白エルボ	φ30	790	
	φ13	540		φ50	182		φ40	860	
	φ16	670		φ13	44		φ50	1,250	
	φ20	990		φ16	39		鋼管 白ニップル	φ15	198
	φ25	1,177		φ20	65			φ20	240
	φ30	2,040		φ25	72			φ25	330
エア抜きセット ①3Fオネジジョイント2個 ②φ13mmニップル1個 ③チーズ1個 ④φ13mmバルブ	φ40	2,250	HI塩ビ バルブソケット インサート付き	φ30	380	φ30		690	
	φ50	2,660		φ40	610	φ40		730	
	φ16×φ13	7,940		φ50	800	φ50		880	
	φ20×φ13	9,240		φ13	530	家庭用給水 ポンプ (単層100v) 単位:1基	φ15	264	
	φ25×φ13	9,800		φ16	687		φ20	300	
	φ30×φ13	12,380		φ20	844		φ25	410	
φ40×φ13	14,360	φ25	1,359	φ30	530				
φ50×φ13	21,300	φ30	2,060	φ40	640				
ポリタンク(黒) ゲートバルブ付き	100ℓ	22,709	HI塩ビ 給水ソケット インサート付き	φ40	2,403		φ50	810	
	200ℓ	28,071		φ50	3,132	130w	90,970		
	300ℓ	34,100		φ13	198	150w	94,710		
	400ℓ	42,014		φ16	308	200w	115,500		
	500ℓ	43,801		φ20	506	250w	122,100		
	1000ℓ	101,888		φ25	1,166				
2000ℓ	253,825								

1. 資材の補助対象額は、上記基準一覧表の単価を基準とする。しかし、購入額(見積額)が標準単価以下の場合はその額を基準額とし算定する。
2. 標記にない資材の補助算定は、調査価格及び購入額(見積額)を基準とし算出する。
3. 購入する資材数量には限定はないが、補助対象は必要最低の資材数量を対象とする。
※タンクの容量は、給水人口により算定する。(1人あたり250Lを満たすために必要な容量)
4. 水源の地理的条件等から判断して、供給ポンプを利用した方が施工的、予算的、効率的に良いと判断される場合は給水ポンプを補助対象とすることができる。但し、給水ポンプの更新についての補助額は基準単価の100分の50とし、更新前のポンプの形式以下とする。ポンプのみの新規については、前事項のとおりを基本とするがそれ以外は、現地調査協議のうえ決定する。またポンプの大きさは世帯数より算出するが1世帯の場合は150W以下とする。
5. 4の場合の補助額は、補助対象世帯の補助金上限額以内とし、その他必要資材もその予算額以内とする。
6. 村営住宅等及び公共施設(学校・福祉施設・集会施設・消防機庫等)は補助対象に含めない。
7. ポリパイプの口径は、1世帯施工の場合φ25mmを標準とする。また、2世帯からの施工の場合は世帯換算に相当する口径とする。なお、飲料水専用なので必要以上の過大設計や仕様は認めない。
8. 過去に補助を受けた者でも補助金の額が上限額に満たない場合は、施工後10年以上経過しなくても再申請を認める。但し、前回の補助該当箇所以外の施設または耐用年数が10年未満と認められる資材(フィルター等)を対象とし、次の申請は最終補助申請年度を基準とし、要綱第3条第6項に準じる。

一般家庭用飲料水供給施設補助事業

(水抜口掘削・水井戸掘削の規格、数量、単価基準及び要件一覧表)

<名称と標準掘削口径>

- ・水抜口掘削 = 横集水ボーリング(φ75)
- ・水井戸掘削 = 縦井戸ボーリング(φ150)

<施工対象世帯数>

- ・施工対象世帯数は3世帯以上を標準とするが、諸条件により2世帯からの施工も可。
その他は、村長が特に認めるものは施工対象とする。

<標準施工規模及び数量>

- ・水抜口掘削 = 1箇所L=20m以内を標準とし1現場2箇所以内とする。(1箇所L=40mも可)
- ・水井戸掘削 = 1箇所L=40m以内を標準とし1現場1箇所とする。
※標準以上の施工の場合は別途協議を行う。

<補助対象金額と補助上限額>

- ・補助対象金額は、3世帯以上を標準とし、実費の金額とする。それ以外の金額は対象としない。
- ・補助対象の積算算定基礎は見積金額を参考とするが、他に調査価格も参考にしてどちらか安価の金額にて決定し、3世帯以上であればその70%補助する。
- ・標準施工の3世帯以上の場合、1箇所の事業費の上限額は、1,660千円とし、補助限度額はその70%の1,162千円とする。
- ・3世帯未満の施工の場合は、1箇所の事業費の上限額は1,110千円とし、補助限度額はその50%の555千円とする。また、1世帯当たりの補助限度額はその1/2の277千円とする。

(水道管理道整備の規格、数量、単価基準及び要件一覧表)

<水道管理道整備の補助要件>

- ・水道管理道整備については、原則管理道整備に要する使用材料を対象とするが、現地調査にて地形的条件で管理道を必要としたり、費用面で有利だったりする場合は、協議のうえ特別に管理道開設も認める事ができる。

<施工対象世帯数>

- ・施工対象世帯数は原則2世帯以上が利用する水道管理道とするが、地理的条件等で単独整備となる場合はその限りではない。

<補助金の上限と開設の要件>

- ・補助金の上限額は1箇所20万円とする。(管理道開設も同様。)
- ・管理道開設の補助算定は、小型運材車道開設事業の補助と同額とする。(W=2.0m)

(修理・改修の規格、数量、単価基準及び要件一覧表)

<修理・改修の補助要件>

- ・過去補助事業等で水道施設を整備した者を対象とし、必要とされる最低限の修理・改修の費用を対象とする。

<修理・改修の補助金の上限>

- ・補助金の上限額は1世帯10万円とする。

(共通の規格、数量、単価基準及び要件一覧表)

<重機を使用する場合の補助要件>

- ・重機使用料は、リース額等の実費とする。(重機運搬費用と原則運転手費用は含まない。)

<特殊機器等を使用する場合の補助要件>

- ・特殊機器等の使用料は実費とする。また、専門的な知識や操作が必要な機器については、協議のうえ人件費も補助対象とすることができる。